



後記

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-07-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/7788

後 記

北海道教育大学情緒障害教育教員養成課程（旭川分校）は本年度第7期を終え、第1期生より数えて116名の修了生を送りだしました。障害児あるいは情緒障害にかかわる問題がますます重要視されつつある昨今、修了生への期待は大きいところですが、全道各地において修了生の活躍はめざましいものがあります。

本情緒障害教育研究紀要 第7号には、課程学生19名19編、学外関係者3編の論文がのせられています。

学外から頂きました論文は、養護学校における食事指導の実践報告、障害児特殊学級における重度障害児の身振りサイン、西ドイツのキャンプヒル共同体についての報告といずれもユニークなものであります。

課程学生論文の特徴の一つは実践研究が増えてきたことで、自閉症児・ダウン症児・重症心身障害児・登校拒否児・緘黙児などを対象に、食事指導や遊びからことば・コミュニケーションまで幅広く取り組まれています。また一方では、保育園・小中学校・障害児学級・高等養護学校・施設・親の会にかかわって、参与観察・面接・アンケートなどによる多様な調査報告がなされ、一つ一つが精一杯の努力の結果となっております。

本年度第7期生もまた研究活動をすすめるにあたって、旭川を中心に北海道全域の教育現場・福祉現場の方々から絶大なご協力、ご援助を頂きました。紙面をかりてころから厚く御礼申し上げます。頂戴いたしましたご好意を肝に銘じながら修了生ともども、現場に学び、地域に学びながら情緒障害教育ひいては教育全体の発展に寄与したいと念じております。関係各位の一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

昭和63年3月1日

小田切 正
末岡 一伯
伊藤 則伯
古川 宇一